

富士山
書
2022
初
∞
5TH SINCE 2017
FUJISAN KAKIZOME

受賞作品集

主催：認定NPO法人富士山世界遺産国民会議／毎日新聞社

後援：山梨県／静岡県

協力：公益財団法人独立書人団



高校生の部 最優秀賞
徳島県立名西高等学校3年 山本 美空

いっしょにやり

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議 理事長 青柳正規

毎日新聞社 代表取締役社長 丸山昌宏

富士山書き初め2022に入賞された皆さん、おめでとうございます。今年も小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部で作品を募集し、全国から1万3292点の応募がありました。どの作品も繰り返し何度も書き込まれたことが伺える力作ばかりで日頃の努力の成果を示していただいたことと思います。たくさんのご応募をいただき心より感謝申し上げます。

富士山書き初めは2018年から始まった書き初めのコンクールで、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議と毎日新聞社が共同で主催し、山梨県、静岡県の後援、公益財団法人独立書人団の協力で開催しております。子どもたちに日本の文化である書き初めを通して、日本のシンボルである富士山を大切にすることを育む機会としてほしいという願いから始まりました。

富士山世界遺産国民会議は山梨・静岡両県とともに世界文化遺産の富士山を守り、後世に継承するためのPR活動や、富嶽三十六景を題材にした小学生向けの教材開発や配布などの活動を続けています。

毎日新聞社も富士山の環境保全を目的とし、清掃登山活動をする富士山再生キャンペーンや、富士山麓の河口湖で音楽祭を開くなどさまざまな活動を続けてまいりました。

今年ご応募いただいた数多くの作品のうち、上位受賞作についてはこの作品集に掲載しております。富士山に寄せる思いが表れたすばらしい作品をご覧頂ければと思います。

目次

ごあいさつ	2
富士山書き初め2022	4
審査講評	5
小学生低学年の部	6
小学生高学年の部	9
中学生の部	12
高校生の部	15
富士山書き初め2022〈社告記事・特集紙面〉	18
富士山書き初め2022〈最優秀賞〉受賞者コメント	19

富士山書き初め2022

主催 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議

毎日新聞社

後援 山梨県 静岡県

協力 公益財団法人独立書人団

参加料 無料

参加対象 小学生、中学生、高校生

部門 小学生低学年の部、小学生高学年の部、
中学生の部、高校生の部

課題 ○小学生低学年の部

「ふじ」「かさ雲」

○小学生高学年の部

「富士山」「初雪」

○中学生の部

「世界遺産」「富士登山」

○高校生の部

「霊峰富士」

「若草や富士の裾野をせり上る」

(正岡子規の句)

応募期間 2021年8月～9月

審査期間 2021年11月

審査員 仲川恭司(委員長)

(二財)毎日書道会理事

(公財)独立書人団理事長

長野秀章

東京学芸大学名誉教授

元文部科学省教科調査官 など

展示予定 2022年1月27日～2月7日

静岡県富士山世界遺産センター

2022年2月10日～20日

山梨県立富士山世界遺産センター

応募点数 1万3292点

入賞入選数 各部門につき、最優秀賞1点、

山梨県知事賞1点、静岡県知事賞1点、

毎日新聞社特別賞1点、

富士山世界遺産国民会議賞2点。

推薦各課題ごとに若干名、

特選その他審査員が優秀と認めたもの。

問い合わせ先

〒102-10074

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階

毎日企画サービス「富士山書き初め2022」係

審査講評

《小学生低学年の部》

定番となりました「ふじ」の課題自体が、半紙いっぱいに表示するのに適した語句であるためか、多くの力作が寄せられ、「ふ」の3つの点の筆使いと位置、「じ」の1画目の払いの筆使いと払う方向の良否が作品の出来に直結した課題でした。小1の野田芽里さんの作品は、特に「じ」の払いの筆使いが大変素晴らしく群を抜く出来でした。「かさ雲」も平仮名2文字、漢字1文字という難しい語句に挑戦された力作が多く寄せられました。小3の内藤繪香さんの作品は、大変丁寧な筆使いで3文字の字配りもみごとな表現でした。

《小学生高学年の部》

「富士山」という漢字3文字を半紙に配置するのが大変難しい課題でしたが、多くの力作が寄せられました。小6の松田葉月さんの作品は、6年生とは思えない程の素晴らしい筆使いで、みごとな作品となりました。「初雪」の2文字の課題は、特に丁寧な筆使いが求められる課題となりました。小5の端菜々美さんの作品は、大変筆使いも丁寧で、文字の字形も素晴らしい作品となりました。

これからも毛筆で文字を表現する時間を大切にして、日本の伝統文化に触れる機会を多く持たれることを期待しております。

委員 長野秀章

《中学生の部》

中学生になると、書写は易しい行書を学びます。今回の応募作品にも行書で書かれたものが圧倒的に多かったです。行書は運筆をなめらかに運び、自然でなくてははいけません。最優秀賞の「世界遺産」（新保心菜さん）筆使いが巧みで、運筆が伸びやかで四文字のバランスもよいです。山梨県知事賞の「富士登山」（新宅彩耶香さん）も筆使いが見事です。面数の複雑と簡素な漢字が横並びになります。「土・山」が大きくなり過ぎたようです。

《高校生の部》

芸術家書道となり、書を学ぶ世界が大きく広がって、中国、日本の書道史の名品を多く学びます。創作は作品の表現に応じた個性的な多様な表現となって、審査をして、大変楽しく興味深かったです。最優秀賞の「霊峰富士」（山本美空さん）は、壮大で力強く堂々としています。また姓名も上手に書かれています。富士山世界遺産国民会議賞の「若草や・・・」（濱野彩花さん）は、漢時代の木簡調で漢字とかなを調和させた異色な作品です。

委員長 仲川恭司

小学生低学年の部

最優秀賞



山梨県・笛吹市立御坂西小学校1年
野田 芽里

山梨県知事賞



香川県・高松市立栗林小学校3年
内藤 綸香

静岡県知事賞



佐賀県・伊万里市立東山代小学校1年
山口 にこ

毎日新聞社特別賞



香川県・高松市立多肥小学校3年
東原 遥花



岡山県・岡山市立竜之口小学校3年
石崎 雅人



大阪府・大阪狭山市立東小学校2年
畑中 美春

富士山世界遺産国民会議賞

小学生高学年の部

最優秀賞



埼玉県・春日部市立八木崎小学校6年
松田 葉月

山梨県知事賞



兵庫県・神戸市立竹の台小学校5年
端 菜々美

静岡県知事賞



三重県・四日市市立大矢知興讓小学校5年
井上 碧

毎日新聞社特別賞



佐賀県・伊万里市立東山代小学校5年
堀田 心彩



青森県・黒石市立黒石小学校4年
葛西 龍



岡山県・岡山市立吉備小学校6年
薬師寺 萌絵

富士山世界遺産国民会議賞

中学生の部

最優秀賞



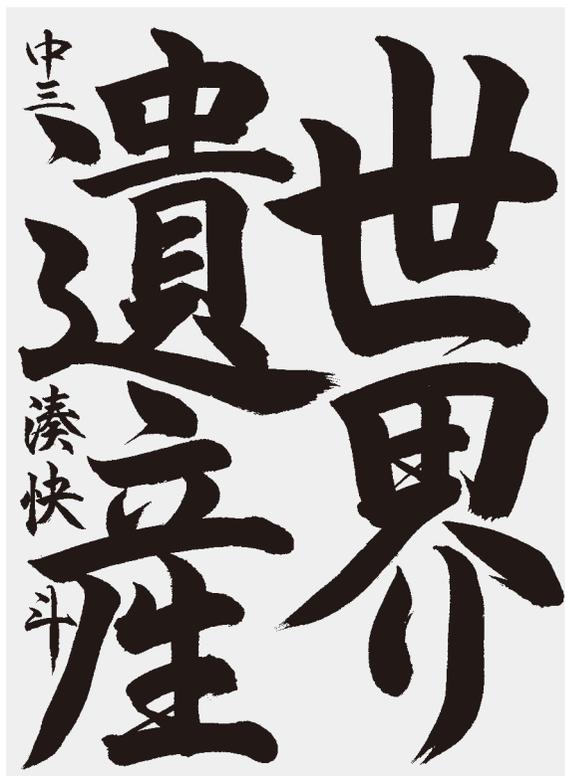
新潟県・新潟大学附属長岡中学校1年
新保 心菜

山梨県知事賞



和歌山県・和歌山市立河西中学校2年
新宅 彩耶香

静岡県知事賞



山梨県・河口湖南中学校組合立河口湖南中学校3年
湊 快斗

毎日新聞社特別賞



香川県・高松市立紫雲中学校2年
渡部 彩乃

富士山世界遺産国民会議賞



福島県・いわき市立泉中学校3年
黒田 美玖



愛知県・刈谷市立依佐美中学校2年
籠瀬 宇太郎

高校生の部

最優秀賞



徳島県立名西高等学校3年
山本 美空

山梨県知事賞



大分県・明豊高等学校 3年
井本 早紀

静岡県知事賞



静岡県立藤枝東高等学校 1年
藪崎 孝矩

毎日新聞社特別賞

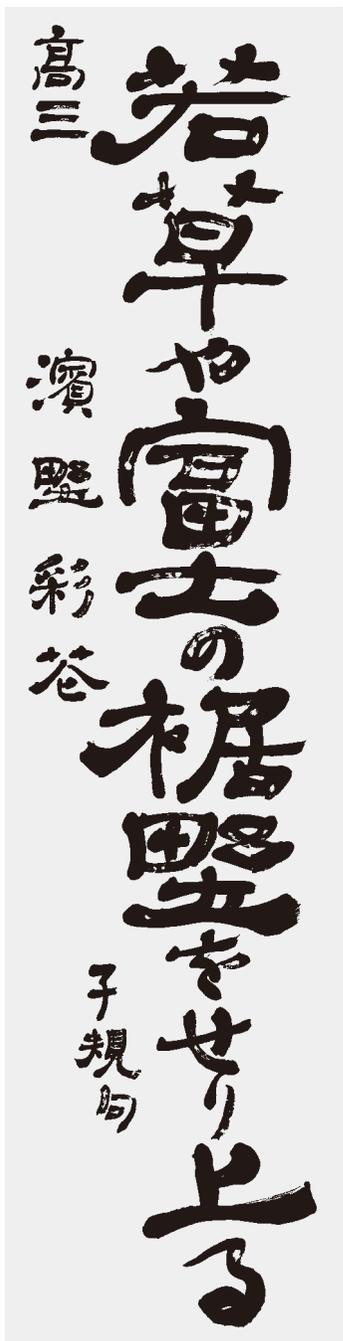


静岡県立韮山高等学校2年
鈴木 博喜

富士山世界遺産国民会議賞



千葉県・
木更津総合高等学校1年
伊藤 芽衣



埼玉県立川口高等学校3年
濱野 彩花

富士山書き初め2022〈最優秀賞〉受賞者コメント

「小学生低学年の部」

山梨県・笛吹市立御坂西小学校1年

野田 芽里

ふじ山かきぞめ2022で「さいゆうしゅうしょう」をいただきほんとうにありがとうございます。

じゅしょうしたことをせんせいからきいてびっくりしました。おとうさんおかあさんもいっぱいほめてくれてとってもうれしかったです。

「ふじ」はむずかしくてたくさんれんしゅうしました。じょうずにかけたときは、せんせいに「じょうずにかけたね」といってもらえてがんばれました。れんしゅうした「ふじ」をいえてみせるとほめられるのでうれしかったです。

きょうが「ふじをかくのがさいごだよ」とせんせいがいった日に、いっぱいかいた「まいをえらびました。

いまおしゅうじがとつてもたのしいのもっとじょうずにかけるようにたくさんれんしゅうしてがんばりたいとおもいます。

「小学生高学年の部」

埼玉県・春日部市立八木崎小学校6年

松田 葉月

この度は最優秀賞という大変素晴らしい賞に、私の作品を選んで頂きありがとうございます。

母から受賞の知らせを聞いた時は本当に嬉しかったです。

私を選んだ「富士山」という課題は、漢字三文字のバランスがとても難しく、大きさをそろえて半紙に収めるのに苦労しましたが、頑張つて本当に良かったです。

私の住んでいる地域からも晴れた日は富士山が見えますが、先日修学旅行先で見た大きな富士山はとてもきれいで感動しました。

堂々とした富士山のような立派な作品が書けるように、これからも練習に励みたいと思います。

「中学生の部」

新潟県・新潟大学附属長岡中学校1年

新保 心菜

この度は最優秀賞をいただきありがとうございます。

とても難しい課題でしたが、世界遺産の壮大さを書で表現しようと、雰囲気や構成を考えながら日々練習しました。

行書を始めて約一年が経ちますが、この作品を書く過程において、筆でしか表現できない線や道具の違いで表情が変わる紙面に、より一層書道の魅力を感じました。

なかなか思うように出来ないからこそ、新たな発見があり、自分なりに工夫をすることが私にとつての書道の楽しみだと感じています。

納得いくまで書き込むことはもちろんですが、見ていただく方に、何か感じてもらえる作品にしたいと気持ちを込めて書きました。少しでも伝われば嬉しいです。

私が書道を楽しむことができるのは、指導してくださる先生、書道環境を整えてくれる家族、そして共に喜び、苦しい時には励まし合える仲間がいるからです。これからも努力を惜しまず学び続け、新たなことにも挑戦していきたいと思えます。

「高校生の部」

徳島県立名西高等学校3年

山本 美空

この度は、「最優秀賞」という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。

受賞したと知った時は、驚きと同時に今まで頑張つて来良かったという気持ちでいっぱいになりました。

私はこの作品を書くにあたり、人を引きつけるような迫力ある作品にしたいと思いました。

筆は羊毛長鋒を使用し、線にさまざまな表情が出るように書きました。普段使い慣れていない筆での作品制作は難しく、なかなか自分の思い通りの線が出せず苦労しました。

しかし、先生に筆の使い方方を指導してもらい、何度も練習を重ねていくと、羊毛ならではの線が出せるようになり、私が表現したかった迫力ある作品を完成させることができました。

この賞をいただけたのは、私一人の力ではなく、先生のご指導や支えてくれた家族のお陰だと思えます。この感謝を忘れず、残りの高校生活での作品制作に全力を尽くしたいと思います。



いつまでも
富士山を
世界遺産に

 毎日新聞 